

# 令和元年度第2回宮城県地域医療構想調整会議 (仙南区域)

日 時 令和2年2月6日(木)  
午後5時30分から午後7時00分まで  
場 所 仙南地域広域行政事務組合3階 講堂

## 次 第

### 1 開 会

### 2 挨拶

### 3 議 事

- (1) 外来医療計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
- (2) 具体的対応方針の再検証等について・・・・・・・・・・資料2
- (3) その他

### 4 報 告

宮城県地域医療構想推進支援事業について・・・・・・・・・・資料3

### 5 閉 会

< 配 付 資 料 >

- 
- (資料1-1) 宮城県外来医療計画(最終案)の概要
  - (資料1-2) 宮城県外来医療計画(最終案)
  - (資料1-3) 宮城県外来医療計画(中間案)に対する関係機関・団体からの御意見等, それに対する県の考え方及び最終案への反映状況
  - (資料2-1) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について
  - (資料2-2) 地域医療構想の実現に向けた重点支援区域の選定について
  - (資料3) 再編統合等を検討する公立病院への支援について

令和元年度第2回宮城県地域医療構想調整会議  
(仙南区域) 出席者名簿

【委員】

(順不同・敬称略)

分野	No	氏名	所属	備考
医師会	1	佐藤 和宏	宮城県医師会 会長	
	2	小松 和久	白石市医師会 会長	座長
	3	平井 完史	柴田郡医師会 会長	
	4	高山 敦	角田市医師会 会長	
歯科医師会	5	玉野 井修	仙南歯科医師会 会長	
薬剤師会	6	瀬戸 裕一	仙南薬剤師会 理事	
看護協会	7	曾根田 浩子	宮城県看護協会 仙南支部 理事	
病院	8	内藤 広郎	みやぎ県南中核病院 院長	
	9	大橋 洋一	公立刈田総合病院 院長	欠席
	10	大友 正隆	丸森町国民健康保険丸森病院 院長	
	11	内山 美寧	国民健康保険川崎病院 院長	
	12	酒井 謙次	蔵王町国民健康保険蔵王病院 院長	
	13	松本 純	大泉記念病院 院長	欠席
	14	早坂 弘人	仙南病院 院長	
	15	安藤 正夫	金上病院 院長	
保険者	16	曾根 正樹	全国健康保険協会宮城支部 業務部長	
	17	山崎 敏幸	宮城県国民健康保険団体連合会 常務理事	
市町村	18	庄司 昭利	白石市保健福祉部 部長	
	19	中村 方彦	角田市市民福祉部 部長	
保健所	20	西條 尚男	宮城県仙南保健所 所長	副座長・欠席

【地域医療構想アドバイザー】

氏名	所属	備考
石井 正	東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授	

【病院事業管理者】

氏名	所属	備考
下瀬 川 徹	みやぎ県南中核病院企業団 企業長	
伊藤 貞 嘉	公立刈田総合病院 特別管理者	

【事務局】

氏名	所属
佐々木 真	宮城県 保健福祉部 医療政策課長
遠藤 圭	同 保健福祉部 医療政策課 医療政策専門監
日野 貴 広	同 同 主幹(企画推進班長)

### 1. 開 会

○司会

ただいまから令和元年度第2回宮城県地域医療構想調整会議仙南区域を開催する。

### 2. 挨拶

○司会

開会に当たり、県保健福祉部医療政策課長の佐々木からご挨拶を申し上げます。

○佐々木保健福祉部医療政策課長

【挨拶】

### 3. 議 事

○司会

本日の調整会議の座長は、白石市医師会小松会長にお願いしている。

○小松座長

それでは、次第に従い議事を進める。(1)外来医療計画について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

【説明】

○小松座長

では、ただいまの説明について質問等があればお願いします。

特にないようなので、項目(1)についてはこれで終了とする。

続いて、(2)具体的対応方針の再検証等について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

【説明】

○小松座長

では、ただいまの説明について質問等があればお願いします。

○佐藤委員

具体的なことが分からないと動けないと思う。例えば、病床ダウンサイジングは、嫌な言葉だが減反政策ともいえる。4機能の病床全てが対象となり、稼働病床の10%以上を削減した場合に病床稼働率に応じて交付するとされているが、1床あたりいくら交付されるのかが早く分からないと実際問題として困る。

公立刈田総合病院の急性期病床を50床ダウンサイジングするにあたって、1床あたりいくらなのかが分からないと困る。この前も申し上げたが、公立刈田総合病院の経営

が悪くなってきたから、みやぎ県南中核病院に急性期を寄せるという考えは間違いで、両病院とも累積赤字が135億円ほどあり、このままではどちらも立ちゆかなくなってしまうこと、さらには、支えている構成市町村がかなりお金を出しておりこのままでは財政再建団体になってしまう恐れがあることがこの話の始まりかと思う。そういうことを踏まえて、重点支援区域に選定されたのは良いが、早く1床あたりの金額を厚生労働省には教えてほしい。

また、医師会からお願いして、10病院を集めた会議を行ったところだが、白石市の市民は不安に思っている。当然、市民向けの説明会を行わなければならないし、それはみやぎ県南中核病院も同じである。両病院が共倒れになって困るのは住民である。なぜこれをしなくてはいけないのかを理解できないと反対の声が強くなって絵に描いた餅になってしまうので、上から目線ではいけない。それから、地区の医師会の先生方の理解を得ないといけないので丁寧な説明する必要がある。財政的にそうせざるを得ないとは思いますが、今申し上げたことを是非お願いしたい。

#### ○事務局

補助事業の詳細を早く知りたいという話については、できるだけ早く情報を集め皆様に共有させていただきたい。

今回の動きについて、丁寧な情報共有と地域課題の解決に向けて関係の先生方と住民向けの対応をしっかり行ってほしいとのお話については、両病院とも連携しながら進めてまいりたい。引き続きよろしくをお願いしたい。

#### ○曾根委員

地域医療の現状、医療のかかり方や医師の働き方などについて、県民を巻き込んだ議論に発展することを期待したい。マスコミ、県や市が発行している広報誌など、あらゆる広報媒体を活用して広報していただきたい。地域医療の現状を県民に理解していただくために、他県でも実施している県民へのアンケートや意見交換の場を設けることは有効であると考えます。今後どのように広報活動を行っていくのか教えてほしい。

#### ○事務局

先ほど佐藤委員からもお話があったが、推進にあたっては広く情報の説明を行い、御理解いただきながら進めてまいりたい。また、広報チラシの作成など、動いているものもあるが、今後も工夫してまいりたい。

#### ○早坂委員

外来医療計画についてだが、医師数など医療資源が十分にある地域かそうでない地域かで、新規開業にあたって同意書の提出など条件が変わる。仙台市は医師が多い地域であり、上位33%に入っているわけではないが宮城県内の他の地域に比べれば医師が多い。外来機能といっても、通常診療の他に産業医・学校医・介護保険の審査といった公衆衛生などがあり医師の負担となっている。少ない医師がそうしたものを担当しながら色々なことをこなしているという現状がある中で、例えば、仙台市では救急や休日診療は手上げたやりたい先生方が担当している。介護保険も似たような状況である。既に

そうした状況なのに、これから開業したい先生に対してそれにどう協力してくれるかを伺うということなのか。

○事務局

地域医療への協力の確認については、資料中段に記載しているが、医師多数区域である仙台区域が該当となる。お話があったとおり、仙台区域では新しく開業する先生に対して、協力いただけるかの確認をしていくことになる。詳細を申し上げますと、同じ区域の中でも、亘理・山元・黒川などそれぞれの地域で様々な事情があるということを調整会議において御意見いただいている。地域の事情を踏まえながら、運用の中で支障のないように、また、対応いただく先生方の層が厚くなるような形を意識して進めてまいりたいと考えている。

○安藤委員

確認だが、資料1-2の13頁において、仙南夜間初期救急センターの開設時間が19:00~20:00と記載されているが、誤りではないか。

○事務局

誤りなので、訂正する。

○小松座長

ほかに質問等がなければ、項目(2)についてはこれで終了とする。

続いて、(3)その他、皆様から何かあるか。

ないようなので、これで終了とする。

#### 4. 報告

○小松座長

続いて、宮城県地域医療構想推進支援事業について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

本事業は今年度新たに実施したものであり、各医療圏の概況をまとめることと、個別の公立病院のコンサルティング支援を行うことを目的としている。株式会社日本経営及び七十七銀行に委託しており、資料の詳細については、後ほど株式会社日本経営から説明いただくが、まずは、概要について事務局から説明する。

【説明】

○株式会社日本経営

【説明】

○小松座長

ただいまの説明について質問等があればお願いします。

○佐藤委員

株式会社日本経営は分析のスペシャリストと聞いているが、例えば、ある病院の経営を分析して経営改善案を作成することなどは行っているのか。

○株式会社日本経営

これまで、全国で1,000病院ほどについて経営改善等のお手伝いをさせていただいている。

○佐藤委員

関係する先生方がいる中で、生意気なことを言って申し訳ないが、公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院の機能的な連携をするにしても、両病院とも経営改善して構成市町村の負担金を少なくすることが大前提かと思う。そのためには、既に内部でやっているとは思いますが、外部の目を入れて経営改善することが必要かと思う。

○早坂委員

以前の会議の中でも、病床機能の報告について申し上げたが、これは病棟単位での報告になっているので、病院の中の実際の病床数とズレがある。

当院については、急性期が35床となっているが、内訳は、地域包括ケア病床が15床、一般病床が20床である。実際の機能としては、回復期にあたると考えているが、当方の理事長から急性期で届けるように話が合ったので急性期で報告している。なので、分析したとしても、それが必ずしも実態と一致しないことになるが、その点についてはどう考えているか。

○事務局

今お話のあったことについては、昨年度の会議の中でも御意見いただいているところである。

報告いただいた数値で今回資料を作成しているが、これまで地域の状況や不足する機能についてお伺いする中で、病床機能報告だけでは把握できない機能や役割分担があるのが実情と理解している。そうしたことを踏まえて今後の調整を進めてまいりたい。今回の資料については、報告結果を可視化したものとして御理解いただきたい。

○小松座長

ほかに質問等がなければ、項目4についてはこれで終了とする。

ほかに、皆様から何かあるか。

下瀬川企業長から何かあるか。

○下瀬川企業長

この度、重点支援区域に選定され、総論が固まったところである。今後、両病院の連携を強めていくために、現場レベルの話合いといった各論に入ってくる。調整会議の構成員の皆様ともよく相談しながら進めてまいりたいと考えているので、ご支援のほどよろしくをお願いしたい。

○小松座長

伊藤特別管理者から何かあるか。

○伊藤特別管理者

下瀬川企業長からお話があったが、重点支援区域の選定については感謝申し上げる。両病院の連携だけではなく、この地域で必要とされることについても議論しながら進めていきたいと考えているので、先生方には御意見いただくと同時に御支援をお願いしたい。

○小松座長

地域医療構想アドバイザーの石井先生から何かあるか。

○石井地域医療構想アドバイザー

下瀬川企業長と伊藤特別管理者からお話があったとおり、この仙南地域がより良い医療体制になればと考えている。自分の役割としては、東北大学に所属しているので大学側の窓口として機能できればと考えている。是非、皆様の御意見をいただきながら各論も含めて議論していきたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

○小松座長

事務局から何かあるか。

○事務局

本日の会議資料及び議事録については、後日県のホームページに掲載する予定なので、了承願う。

○小松座長

皆様の協力で無事調整会議を終了することができた。司会進行を事務局に返す。

#### 4. 閉 会

○司会

以上をもって、令和元年度第2回宮城県地域医療構想調整会議仙南区域を終了する。